

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

**1 事務事業の基本情報**  位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	消防団運営経費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	9	項	1	目	2	事業	2
担当部	市長公室	担当課	防災危機管理課	担当係	消防	係	作成者	中嶋 德行	内線(電話番号)	2230	シート作成日	H30.10.22	部長決裁日	H30.10.23		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : )		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 消防団条例, 消防団の組織等に関する規則, 消防表彰等に関する規律, 消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例)													

**2 事務事業の目的**  当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ火災等災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ災害防ぎょ活動等を行っており、一般住宅における消火活動はもろんのこと、特に地震や風水害等の大規模災害時においても災害の拡大防止に活躍が期待されている。そのような中、現在、消防団員の減少、平均年齢の上昇が課題となっている。	誰・何を対象に	市民	望ましい状態	今後も火災や自然災害等に対処できる体制を継続していくために、若い世代が消防団活動を経験することにより、世代間のつながりを築き、自助・共助の意識・知識を地域ぐるみで当たり前のよう共有できる体制を整えることが、すそ野の広い地域防災体制を構築することができる。
		どのような方法・手順で	消防団PR等による入団促進		

**3 事務事業の主たる成果指標**  数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	消防団員数	単位	人	目標値	472	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	消防団条例定員を目指す。
-----	-------	----	---	-----	-----	------	----------	-------------------------------------	--------------

**4 事務事業の実績 ①**  当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量
事務事業を構成する主な業務	① 退職団員報償事務	1事務	① 退職団員報償事務	1事務	① 退職団員報償事務	1事務
	② 消防団員表彰事務	1事務	② 消防団員表彰事務	1事務	② 消防団員表彰事務	1事務
	③ 火災、災害等現地出動	31件	③ 火災、災害等現地出動	36件	③ 火災、災害等現地出動	70件
	④ 消防団会議	20回	④ 消防団会議	22回	④ 消防団会議	23回
	⑤ 消防団各種訓練	12回	⑤ 消防団各種訓練	12回	⑤ 消防団各種訓練	12回
	⑥ 消防操法訓練	1事務	⑥ 消防操法訓練	1事務	⑥ 消防操法訓練	1事務
	⑦ 消防学校入校手続き等業務	5回	⑦ 消防学校入校手続き等業務	5回	⑦ 消防学校入校手続き等業務	5回
	⑧		⑧		⑧	
	⑨		⑨		⑨	
	⑩		⑩		⑩	
	⑪		⑪		⑪	
	⑫		⑫		⑫	
	目標値に対する実績値	443 人	目標値に対する実績値	435 人	目標値に対する実績値	419 人
決算額	計	50,255,168 円	計	52,086,632 円	計	58,679,143 円
	内訳	特定財源 10,837,000 円 一般財源 39,418,168 円	内訳	特定財源 12,696,000 円 一般財源 39,390,632 円	内訳	特定財源 16,648,000 円 一般財源 42,031,143 円
		(住民一人あたりの行政コスト) 813 円		(住民一人あたりの行政コスト) 857 円		(住民一人あたりの行政コスト) 971 円

**5 担当者評価 ②**  実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標未達成	成果内容	消防団員へ防火手袋、ヘルメット、ヘッドライトを購入、配布し、装備の充実を図った。
問題点			入団促進のため、声掛けやPRを行っているが、なかなか成果が上がらない。

**6 担当部長及び担当課長評価 ③**  担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

大規模災害時における消防団の役割は非常に重要であるとともに、地域防災力の強化を図る上で中核的役割を担っているが、団員数が年々減少傾向にあることから、消防団員の処遇改善等を図る。

**7 実施計画 ④**  今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業内容	退職団員報償事務 消防団員表彰事務 火災、災害等現地出動 消防団会議 消防団各種訓練 消防操法訓練 消防学校入校手続き等業務		退職団員報償事務 消防団員表彰事務 火災、災害等現地出動 消防団会議 消防団各種訓練 消防操法訓練 消防学校入校手続き等業務		退職団員報償事務 消防団員表彰事務 火災、災害等現地出動 消防団会議 消防団各種訓練 消防操法訓練 消防学校入校手続き等業務	
	歳出	計 48,143 千円	歳出	計 63,000 千円	歳出	計 63,000 千円
	歳入	特定財源 8,976 千円 一般財源 39,167 千円 計 48,143 千円	歳入	特定財源 13,000 千円 一般財源 50,000 千円 計 63,000 千円	歳入	特定財源 13,000 千円 一般財源 50,000 千円 計 63,000 千円

**8 財務アドバイザーの見解**

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

**9 行政改革懇談会(市民)の意見**

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。定員は472名だが、消防団員の確保は難しい状況である。火災、水害、震災などに対処しなければならず、大変な業務のため、中長期的な視点で運営方法を検討していただきたい。また、男社会のイメージが強い消防団だが、総務省消防庁は地元に着目した女性の入団を促しており、消防団員の男女雇用機会均等を検討する時期にきていると思われる。消防団員の活躍により市民一人ひとりの防災意識が向上し、それが被害の減少につながるため、今後なお一層の消防団の啓発をお願いしたい。

**10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤**

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

消防団員の減少については、防災先進都市を目指す本市にとっては喫緊の課題であることから、制度設計を含め、消防団員の確保・自主防災組織の結成・防災士の育成についてもあらゆる手段を講じて確保に努めていく。

**11 事務事業の改善理由 ⑥**  実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

平成30年度においては、常総市消防団消防ポンプ操法競技大会を開催し、団員の日頃の訓練の成果を市民に披露し、消防団に対して関心を持ってもらう良い機会になった。今後もあらゆる手段を講じて引き続き団員確保に努めていく。